

2018年3月27日

各 位

J A三井リース株式会社

航空機エンジン部品を手掛ける AeroEdge 社への出資について
～わが国の航空機エンジン業界の国際競争力向上に貢献～

当社は、航空機エンジン用部品の製造・販売メーカーである AeroEdge 株式会社（本社：栃木県足利市、代表取締役：森西淳、以下「AeroEdge」）が実施する第三者割当増資により発行する株式を引き受けましたのでお知らせします。

今回の第三者割当増資は当社を含む計6社を引受先とした総額約22億円で、世界の航空機需要拡大を背景とした航空機エンジン部品の生産需要増加に AeroEdge が対応するため、生産体制をより強固にし、グローバル市場でのプレゼンス確立・向上を目指すものです。

1. 日本の航空機産業を取り巻く環境

世界の民間航空機市場は、新興国の旺盛な顧客需要や貨物輸送の増加などから成長を続けています。これにともない、航空機需要も年々増加する傾向にあり、今後20年間で約2倍の伸びが見込まれています。1機300万点ともいわれる部品から組み立てられる航空機は、航空機完成メーカーとエンジン完成メーカーの2つを頂点に、膨大なサプライヤーが世界中に存在していますが、このような市場拡大にあわせ、新規サプライヤーの参入が相次いでいます。（日本航空機開発協会調べ）

日系メーカーは、機体構造（胴体や主翼など）やエンジンを中心に、一定のプレゼンスを示しています。しかし、航空機産業における参入障壁の高さ（生産・品質保証体制の確立など）もあり、成長分野ではあるものの、中小企業を中心に必ずしも新規参入が進んでいるとはいえない状況にあります。

2. AeroEdge とは

AeroEdge は歯車メーカーである菊地歯車株式会社の航空宇宙事業から開始し、2015年に分社化された航空機エンジン用部品の製造・販売メーカーで、近年、新素材として注目されている各種難削材（チタンアルミなど）の加工とその工程設計のノウハウを強みとしています。

チタンアルミは軽量・高硬度であり、航空分野に限らず用途が拡大していますが、超難削材であるため、世界で切削できるメーカーは限られています。また、厳しい品質管理基準の確立・維持が求められる航空機業界の中で、AeroEdge は開発～製造～品質保証まで一貫して請け負える体制を整えています。

AeroEdge は、大手航空機エンジンメーカーである Safran Aircraft Engines（フランス）と長期受給契約を締結し、新型民間航空機エンジン「LEAP*」に搭載されるチタンアルミ製の低

圧タービン(LPT)ブレードを製造しています。この「LEAP」への搭載を皮切りに、グローバルな事業展開に取り組んでいます。



*中型機向け次世代航空機エンジン「LEAP」
 新型航空機 A320neo(エアバス社製)、
 B737MAX(ボーイング社製)、
 C919(中国商用飛機製)に搭載のエンジン

出所：SAFRAN AE, AeroEdge

3. 出資の背景・意図

当社は、2017年度を初年度とする中期経営計画「Real Change 2020」において、航空機産業を注力分野と位置づけています。今後も当社が日本のものづくり分野で培った知見を活用して AeroEdge の事業発展に貢献していきます。また、AeroEdge の持つ素材材加工技術は、自動車産業分野、ロボット・自動化分野における部品の軽量化、高機能化へ寄与すると期待しており、当該分野でのファイナンスサポートを通じて、さらなる事業領域の拡大を図っていきます。

■AeroEge 株式会社 概要

社名	AeroEdge 株式会社 (英文名 AeroEdge Co., Ltd.)
本社所在地	栃木県足利市寺岡町 482-6
設立年月日	2015年9月16日
代表者	代表取締役社長 森西淳
資本金	3,000万円
社員数	74名(2017年10月1日時点)
事業内容	航空機部品の製造、および販売
認証取得規格	JIS Q 9100 : 2009 ISO9001 : 2008 ISO14001 : 2004

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営企画部 広報 I R 室 電話：03-6775-3002